

第10回杉並区における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● おつかれ様です。引き続きよろしくお願ひします。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地上部街路をつくるなら、外環道を地下化する必要はないとの意見はもっともだと思ふ。(理屈としては)</li> <li>● 佐久間課長の「外環道(高架)は地域を分断する」との発言があつたが、地上部街路でも地域の分断は生ずる。(交通事故の発生も多くなる)</li> <li>● 地上部街路は防災に役立つとのことだが、周辺に狭い道も多く限定的ではないか。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 杉並区における「地上部街路」の話し合いの会であるのに、練馬区のことばかりで本題の話し合いがされていない。</li> <li>● 構成員の発言が、個人の人格等を否定するようなものが多く、公の場で行う話し合いの会としてはいかなものか。とても不快な会と感じた。</li> <li>● 本線の話や他地域のことを非難する会のようにあつた。</li> <li>● 初めて傍聴させていただいたが、毎回このような状態であるならば時間がもったいないと思ひました。もっと本題の杉並区の地上部街路の話し合いを期待します。</li> <li>● 終わりの方に発言された女性の意見がもっともだと思ひます。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 図面開示について：どこのオープンハウス、どの話し合いの会でも同じ図面を提示しないと、情報の不平等化がおこるのではないですか。開示可能なものは全て誰でもアクセスできるようにしないと、民主的な議論にならないと思ひます。</li> <li>● 練馬区間について：杉並の会で練馬について議論しているのはおかしいです。構成員の言つたように練馬が「決定していない」なら話し合いの会を再開すべき。資料の「広く意見を聴く会」の人数を見ても、これで手続きを踏まえたとは言えない。そして都の方が「意見を聴く会で『説明』し」と発言されたが、初めに計画決定ありきで都の方から計画案を出す形での会では住民の「意見を聴いた」とはいえない。</li> <li>● 本当に広く意見を聴くなら練馬から調布まで全エリアの計画と問題点と現状を開示し、全地域住民同時に意見と情報を共有する場を設ける必要もあるのではないか。</li> <li>● 議事進行について：元々の次第設定に無理があります。構成員から1人5分の意見発表とありますが、5分×人数で何分になりますか？こうした設定のあり方からして、会を民主的に進行する意図が見えません。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 西荻北及び善福寺公園付近の詳細情報が入手できるかと期待して参加しましたが、イメージと違つた状況なので途中で退出させていただきます。詳細はNETで入手したいと思つております。</li> </ul>

6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 練馬の1km区間の早期着工は説明されたが、撤回してほしい。この区間だけやるのはおかしいし、杉並でもまだ話し合い中なのにおかしい。</li> <li>● 外環の2をつくりたいという都の意向だけが先行している。住民の意見を聴く姿勢がない。外環の2は中止すべき。必要なし。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回、佐久間課長の大泉1km（外環の2）図面に関する話はまったく納得できるものではない。練馬区大泉でのオープンハウスや「武蔵野市における地上部街路の話し合いの会」では範囲外だからという理由あるいは話し合いの会からの要請がなかったからとの理由で図面の提示はしないと判断したということは都の説明責任を放棄しているとしか思えない。都がしなくてはならないことは住民にきちんと周知をすることであり、外環の2の全体像を住民に示し内容を理解してもらうことであり、その為には図面の提示は絶対必要である。</li> <li>● 練馬のあり方について、広く意見を聴く会でも十分な意見は聴かれていないし、区に対して出した意見募集の意見書では圧倒的に反対意見が多かったにもかかわらず何も反映されていない。このような形でどんどん進められることは住民無視であり、民主主義に反するやり方であると思う。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 司会者はきちんと議事進行をしてください。</li> <li>● 住民への説明責任をちゃんと果たすべき。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人の所有地の買収にも関わる道路計画を話し合う会なのに、事業認可の図面を提示しないで話し合い・説明を行うという考え方はありえない。全く基本的な情報抜きに何を話し合うのですか？理解できません。前回まで「情報公開でとった資料を公開の場に示してはいけない」といっていましたが、クリアされたのですか？それともウソだったのですか？</li> <li>● 練馬の3kmの案が突然出されましたが、1kmについての納得いく説明もなされていないのに、次の計画がなしくずしに進むのですか。「代替案」で中高層ビルがあるために無理と言いますが、都市計画道路予定地にびっしりと埋まっている小さな民家は立ち退きさせても痛痒を感じないというのでしょうか！住んでいる人のことは眼中にない？</li> <li>● 国交省の担当者が2人とも欠席は不誠実すぎる。都の責任で必ず出席させるべき。</li> <li>● 杉並区の担当者は、これだけ会がないがしろにされているのに2人とも一言も発しないのは無責任です。区民とともに発言すべきです。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京都のこの会に国交省が来なかったのはマナー違反。外環説明会（喜多見）の日時をいくらでも別に設定できたはず。</li> <li>● 図面の提示について、情報開示の条例に反している。</li> <li>● 「土地が買えない」というのはやや矮小化している。良好な住環境（3000戸立ち退き）をこわさないということではないか。</li> </ul>

1 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幅員 40m の案で外環の 2 地上部街路には、日暮里舎人ライナーやゆりかもめのような新交通システムを東急二子玉川駅まで設置して、南北間の交通機能の充実を図って欲しい。(環八道路の地下のエイトライナーの整備が進まないため)</li> <li>● 首都高速の大橋ジャンクション部では、東京都施行の市街地再開発事業を中心に、東京都、目黒区、首都高速道路株式会社が一体となって、周辺の街づくりが進められましたので、外環の地上部街路の整備においても、これと同様の手法で共同住宅(マンション等)の整備を行い、移転対象の住民向けの住宅の提供もあわせて行ってほしい。</li> <li>● 外環の 2 地上部街路の整備に当たっては、将来外環本線の青梅街道インターチェンジをハーフからフルに変更して設置できるよう、都市計画を変更してほしい。</li> </ul>
1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● はじめて参加しましたが、意見を述べます。「地上部街路」の工事も当然反対です。もちろん「地下方式」もそうです。理由は、人口減、車の保有台数減、住環境の破壊等であります。また、上述の大工事に資金を投じる前に、住民にプラスになる福祉とか迫りくる大地震へのより緊急度の高い地域等へお金を使うべきです。よってこの「話し合い」も即刻中止すべきであります。「地下」も含めてやり直すべきです。(この種の「話し合い」で認可をگری押しするのは、「地下」の話と矛盾することになるため、「外環自体の要否」も最初から再検討すべきという意味です。)</li> <li>● 「地下」に変更しながら「地上」の計画が残ったままというのは子供でも理解できない。建設業者等に利益を与えるために、わざと「取消」をしなかったと言わざるを得ない。</li> <li>● だから、都、司会者等の説明・対応ぶりを見ても、10 回目だというのに住民側の質問にきちんとした説明等もできない。説明できないふりをしている。あるいは意図的に答弁できない人を出席させている。うやむやにしたい。国交省に至っては全員欠席の有様である。</li> <li>● また、なぜ練馬から検討しているのか、なぜ 1km だけ認めているのか、反対意見をそのままになぜ突如複数案、それも高い費用のパンフレットなのか、どうもおかしい。</li> <li>● この「話し合い」は国、都、区の「住民に聞いた！」のアリバイづくりにほかならない。</li> <li>● また、区、都なりが申請し、各身内が決裁する今の仕組みも、意味のない話し合いにつながっている。</li> <li>● 最後に、無駄金を使う外環道を止めて、住民のためにお金を使ってください。それをしないなら、住民無視になります。税の使い道で民意に反するのであれば、税は「ゼロ」にすべきです。</li> </ul>

1 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 練馬における地上部街路（案）のパンフレットが配られ、説明があったが、全く一方的でかつ中身の乏しい資料と説明であった。永年にわたり多岐にわたって真剣な議論を続けてきた杉並区や武蔵野市において、同様のことが行われるならば、何のための話し合いの会だったのかが問われることになる。今後は話し合いの会で出された意見を踏まえた誠実な取り組みをしてください。</li> </ul>
1 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 佐久間課長の地下化理由は外環の2を許容するものにならない。石原知事、扇大臣（いずれも当時）の視察時及び国会での発言は、地上に住む人に迷惑をかけないという趣旨のもの。当然地上部の道路化は念頭になく、それがそのまま地域住民に受け止められている。外環の2、地上部道路は行政の判断としても存在しえず、必要性もない。住民をだますような施策には反対する。</li> </ul>